

令和 5年度予算見積調書

課室名：生産振興課

担当名：主穀担当

内線：4138

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P62	県産麦大豆増産体制整備事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	米麦産地育成対策費		
事業期間	令和5年度～ 令和8年度	根拠法令	主要農作物種子条例			針路 分野施策	12 1202	儲かる農林業の推進 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール 2, 13 SDGsターゲット 2-1, 2-4, 2-5, 13-	
1 事業概要	<p>世界情勢の不安定化や気候変動の影響により、輸入穀物の供給不足への懸念が高まり、国産穀物増産の機運が高まっている。</p> <p>そこで、麦大豆の生産拡大に必要な種子を増産するための種子生産に取り組む生産者への支援や、原種生産体制の整備を行うことで、県産麦大豆の作付拡大を進め、県民への安定した食料供給体制の構築を図る。</p> <p>麦大豆種子の増産・安定供給体制の整備 39,313千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 麦大豆種子の増産・安定供給体制の整備 39,313千円 ア 麦大豆種子の2ha以上の作付拡大に取り組む生産者の農地や種子専用機械の整備に対し、補助する。 イ 原種・原原種増産のため、最新機械を導入し、効率的な生産体制を整備するとともに、玉井試験場周辺の農地を借り入れ、新たなほ場を確保する。 ※技術革新による新規導入、もしくは25年以上経過した機材の更新 ウ 種子の増産に伴い増加する品質検定に対応するために必要な試験機材を整備する。</p> <p>(2) 事業計画 ア 補助金の創設・補助の実施 「麦大豆種子作付拡大体制整備補助金」補助率：1/2、600万円×2法人等 イ 原種・原原種増産用機材の導入 種子専用コンバイン、大豆用コンバイン 種子乾燥調製消毒機器（修繕） ウ 品質検定用機材の導入 発芽試験機2台</p> <p>(3) 事業効果 麦大豆種子生産者の作付拡大及び原種・原原種生産体制の整備により、県産麦大豆の作付拡大に必要な県産種子が安定的に確保される。 ア 麦大豆主要品種の県産種子供給割合 令和4年度：麦類88.5%、大豆45.5% →令和8年度：100% イ 麦大豆の作付面積の拡大 令和3年度：麦類6,050ha・大豆619ha→令和8年度：麦類6,850ha・大豆670ha</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 埼玉県米麦改良協会や種子産地JAと連携し、種子の増産及び安定供給を図る。</p>						
2 事業主体及び負担区分	<p>ア 麦大豆種子作付拡大体制整備補助金 (県1/2) 事業者1/2 イ その他 (県10/10)</p>									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.8人=7,600千円									
予算額		財源内訳							一般財源	前年との対比
決定額	39,313	県債	18,000						21,313	39,313
前年額	0								0	

事業内訳書

事業名	県産麦大豆増産体制整備事業		
単位事業名	麦大豆種子の増産・安定供給体制の整備	予算額	39,313千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	452	452	関係機関打合せ、事業実施主体打合せ
需用費	7,549	7,549	消耗品、発芽試験用資材費、パンフレット印刷代 種子乾燥調製消毒機器修繕（集塵設備更新） 4,587千円
役務費	173	173	契約事務書類送料
使用料及び賃借料	150	150	原種生産ほ場借入 10千円/10a×130a 原種生産ほ場借入説明会会場使用料 10千円×2回
備品購入費	18,989	18,989	原種生産用機械購入費、発芽試験用機械購入費
負担金、補助及び交付金	12,000	12,000	麦大豆種子生産者への補助金 6,000千円×2法人
合計	39,313	39,313	